

2016年度

第56回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2016年6月25日（土）～26日（日）

会場：東京女子大学（本館1F・0101教室）

☆第一日目 6月25日（土）

- I 理事会 (12時～12時50分)
- II 開会の辞 (12時55分～) 日本社会学史学会会長 中島道男
- III 一般研究報告1 (13時～14時15分) 司会 多田光宏 (熊本大学)
- ①19世紀史再考：社会学の成立背景？ 今野 晃 (東京女子大学)
- ②社会学のニーチェ
—社会学黎明期とニーチェ思想— 大黒正伸 (創価大学)
- ③P. Aソローキン「哲学者としてのトルストイ」の
社会学的意義 吉野浩司 (長崎ウエスレヤン大学)
- IV 一般研究報告2 (14時25分～15時40分) 司会 伊藤賢一 (群馬大学)
- ④社会統合論の系統的再検討
—パーソンズ影響力論の理論的モチーフの継承をめぐって— 兼子 諭 (法政大学)
- ⑤ブルデューにおける反省性 磯 直樹 (上智大学)
- ⑥熟議民主主義と公共性 原科達也 (早稲田大学)
- V 一般研究報告3 (15時50分～17時05分) 司会 大澤義信 (関東学院大学)
- ⑦H. マルクーゼの文化論にみる管理社会論の萌芽
—第二次大戦期の諸論文に着目して— 馬渡玲欧 (東京大学)
- ⑧ゲゲゲのヴェブレン
—「怠惰な好奇心」をめぐって— 考察— 小谷 敏 (大妻女子大学)
- ⑨未来社会論の構想 飯田哲也
- VI 総会 (17時10分～17時45分)

☆第二日目 6月26日(日)

VII シンポジウム (13時～16時30分)

共通テーマ 《 社会学理論の最前線 ―空間― 》

司会 森 元孝 (早稲田大学)

出口剛司 (東京大学)

- 報告1 「空間・包摂・援助
―ドイツにおける福祉国家の制度改革とルーマンの応用領域との関係から―」
渡會知子 (横浜市立大学)
- 報告2 「定住と移動に関する社会学説史的考察
―G・ジンメルをめぐるとの諸テキストを基点として―」
徳田 剛 (聖カタリナ大学)
- 報告3 「『社会空間』と『場』の理論から考える境界性の円環とアイデンティティ」
佐藤典子 (千葉経済大学)

●討論者1 内海博文 (追手門学院大学)

●討論者2 清水晋作 (盛岡大学)

趣旨説明 (13時 ～13時10分)
報告 (13時10分～14時25分)
休憩 (14時25分～14時40分)
討論 (14時40分～15時10分)
リプライ (15時10分～15時30分)
フロア・総括 (15時30分～16時30分)

【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は25分（報告15分、質疑応答10分）
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各15分
- 大会参加費 一般会員2,000円 学生会員・非会員1,000円
- 大会・総会会場 大学本館1F・0101教室
- 会員控え室 大学本館1F・0105教室
- 理事会会場 大学本館1F・0102教室（シンポ打合せ0104教室）
- 論文抜刷および
書籍等扱い 1週間前までに事務局へ文書を持って必ずお申し出ください
大会当日の申し込みは一切お受けできません。厳守ください
- コピーについて コピーは個人の責任でお願いします。大会開催校および事務局では、
一切のコピーサービスをお断り申し上げます
- 開催校所在地 〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1
(大会連絡先) 東京女子大学現代教養学部国際社会学科赤堀三郎研究室
TEL 03-5382-6355
- 飲食施設 大学周辺に飲食店・コンビニ等多数ございます。飲食店マップを当日配付する予定です。そちらをご利用ください
- 交通機関 最寄り交通機関および学内案内は右図参照
校舎案内 (詳細は、本学会HPおよび東京女子大学HPをご参照ください)

☆日本社会史学会事務局

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部社会学研究室
TEL 03-5317-8978 (庶務担当直通)
FAX 03-5317-9423 (学科研究室)
(電話でのお問い合わせは、水・木)